

【総領事館からのお知らせ:ジャカルタにおける書籍爆弾】

平成23年3月21日(総11第11号)
在デンパサール日本国総領事館

1 先日、ジャカルタにおいて、書籍内に仕込んだ爆弾が各所に送付されるという事件が4件発生しました。各事件において送付された書籍爆弾は、それぞれ次のとおりです。

(1)イスラム団体(リベラルイスラムネットワーク)代表者宛

(2)国家麻薬庁・長官宛

(3)青年団体(パンチャシラ青年団)代表者宛

(4)音楽活動家団体(リパブリック・ラブ・マネージメント)代表者宛

いずれの爆弾も3月15日中に送付された模様です。4件とも警察官による処理が行われましたが、(1)については、処理中に爆発し負傷者が出ております。(4)については15日に送付されていましたが、結果的に17日に発見・処理されたものです。)

現在、宛先になっていた人物・団体などからの聴取も含めて、警察による捜査が行われております。

2 また、19日には、当地ギアニャール県のマニック通り(ギアニャール県庁裏辺り)においても、不審物が発見されました。警察によるX線検査によれば、電線や金属製のバネ等が入っている模様ですが、爆発物が含まれているかどうか引き続き捜査中です。

3 書籍爆弾につきましては、指定された個人宛に送付されたものではありませんが、現在の状況を踏まえ、在留邦人の皆様におかれましては、念のため送付された物品などに不審なものがある場合には、安全確保のため不用意に触れることなく、警察に通報するなどの措置をお取りください。

また、ショッピングモールなどに対する爆破予告については、模倣犯などが発生する可能性もあり、模倣犯が発生した場合には、正確な情報の入手に努められ、冷静な対応をお心かけください。

以上